



平成30年度 学生災害ボランティア・ネットワーク事業  
大学コンソーシアムひょうご神戸  
学生ボランティア広報紙

2018  
Vol.02

2019年1月発行

■編集/  
学生ボランティア広報担当

■発行/  
ひょうごボランティアプラザ  
神戸市社会福祉協議会  
日本財団学生ボランティアセンター  
大学コンソーシアムひょうご神戸

■デザイン/  
イワサキ出版印刷有限公司

# Gaku-Vol mag



新たな一歩をふみ出せ  
学生が創るボランティア。

## もくじ

- 2・3 思い続けよう、宮城 過去から、未来へ
- 4・5 神戸から熊本へ 届けたい思い
- 6 話し合ったり学んだり「研修プログラム」
- 7 丹波スタディーツアー  
バッチリお答えします「学生Q & A」
- 8 おすすめ! Spot & Food  
ボランティアお役立ち情報



# 東日本大震災



平成 23 年 3 月 11 日。M9.0 の地震。死者 15,467 名。行方不明者 7,482 人。避難者数 124,594 人。津波の高さ最大 9m 以上と人間の予想を、遥かに超えた。未曾有の大地震でした。震災から、7 年経った今。仮設団地から復興公営住宅に移住する人々の増加。そんななか仮設住宅に残る住民。「復興とは、なんだべ？」自問自答の日々が続きます。私たち学生にできること。それは、そばにいて。話す。耳を傾ける。共に笑う。同じ時間を共有する。これが、震災から年月が経った今、必要なこと。

8月25日(土)  
1日目

## 3.11(あの時)と、今を聴く



住民の方々主催の「復興住宅(戸建エリア) 住民顔合わせ会」に参加させていただきました。今の生活の不便さや、当時のことまで現地の方の貴重なお話を聴く事ができました。この今の<sup>ゆりあげ</sup>状況に、今自分は何か出来るのだろうかと疑問を抱いた1日目でした…。

「住民顔合わせ会」の中心人物である長沼さんの講話をお聴きしました。引き継がなかった伝承、生かされなかった教訓。その悔しさが痛いほど感じられました。同じことは繰り返さない、そう心に誓いました。



学生の声 関西学院大学 2回生 片山 七海

<sup>ゆりあげ</sup> 関上に住む方の想いや生かされなかった教訓、悔しさや悲しみを肌で感じてきました。このことを過去のこととしてしまうのではなく未来への想い、教訓を繋いでいかなければいけないと思いました。



尚綱学院大学の学生さん達

## 現地の学生とも繋がれたよ!

現地で活動をしている尚綱学院大学の学生と一緒に活動をしました!初めて会った私たちでも家族のように温かく受け入れてくれて嬉しかったです!現地を案内してくれたり、初日から最終日まで活動を共にしてくれました!兵庫の学生と宮城の学生とが繋がり、強い絆で結ばれたと思います!!



# 思い続けよう、宮城 過去から、未来へ

宮城県名取市での活動 2018.8.25-27

数多くの繋がなければならない想いや<sup>ゆりあげ</sup>教訓が関上の地にはありました。繋いでいこう、繰り返さない為に。



## 学生だから、できること。

伝える



今では宮城の映像が報道されることは少なくなり、今の宮城を知ることは難しくなっています。それでも宮城から学び、伝えていかなければいけないことは数多くあります。宮城に行かないと分からない、知れないことがたくさんあります。学生だから行けて、学ぶ事ができます。その学んだ事を伝えていくことは私たち学生にしかできません。宮城の為に、未来の為に想いを、教訓を繋げていきたいと思いました。

寄り添う



今の宮城に学生ができることは何か。その答えが今回の活動中に見つかった気がします。それは「寄り添う」事です。住民の方々の想いに耳を傾け、共に笑う。たったこれだけのこともかもしれませんが、私たちの若い力は膨大なエネルギーになり、その場をあっという間に笑顔にしてしまいます。7年たった今でも自分にもできることがあった事がとても嬉しかったです!「してあげる」の精神では体感できない素敵な瞬間を今、この広報紙を見ている皆にも肌で感じてほしいな!

8月26日(日)  
2日目

## 繋げていきたい想い、教訓

<sup>ゆりあげ</sup> 関上港朝市にて、櫻井代表理事の講話をお聴きしました。あまりにも魂の籠った講話に涙を流す学生もいました。備えの大切さ、地域で防災の意識を強く持つことの重要性をお話して頂きました。未来を守るために私たちにもできることをしないといけないと思いました。



<sup>しょうがい</sup> 尚綱学院大学で開催した研修交流プログラムでは名取市役所の職員の方をお招きしお話を伺いました。住民の方々と上手く折り合いを付けながら街づくりをしていく大変さを実感しました。また、尚綱学院大学の学生達と、「学生にできることはなにか」について話し合い、発表しあいました。現地で活動が続いているからこそ出る意見もあって、現地にきて現地の人たちの意見を聴く事はとても大事だと思いました。

学生の声 神戸常盤大学 2回生 新保ひかり

テレビ等では伝わってこない「生の声」や<sup>ゆりあげ</sup>「現状」を実際に見て、肌で感じてきました。避難訓練をしても、現実、難しいこともあることを知りました。事前に準備しておくことの大切さを学びました。



8月27日(月)  
3日目

## 共に造る「笑顔」

<sup>ゆりあげ</sup> 関上中央第一団地の住民の方々と一緒に宮城の郷土料理である「おくずかけ」を作り、一緒に食べました。祖母に料理を教わっているようでどこか懐かしい感覚でした。住民の方々も「孫ができたみたいだ!」と喜んでくれました。「またきてね。」という言葉が本当に嬉しかったです。住民の方々と過ごした時間が素敵なものだったと証明できた瞬間だとも思いました。学生にできることは少ないかもしれない。でも同時に学生の力はとても大きいものなんだと実感しました!!



学生の声 神戸学院大学 2回生 寄光里輝也

「繰り返してほしくない」住民さんの言葉が深く胸に刺さりました。同じことを繰り返さないためにもこの思いを「自分事」として考えて、行動することが大切だと学びました。そして僕は<sup>ゆりあげ</sup>関上に住む人たちの言葉や想い、そして人柄の良さに触れました。するとあっという間に関上の地に魅了されてしまいました!自分は「一歩踏み出す」ことで本当に数えきれない「行かなきゃわからない」大切な事を学びました!皆にも一歩踏み出して、<sup>ゆりあげ</sup>関上の良さに触れて関上のことを大好きになってほしいな…





## 熊本地震



平成28年4月14日、16日、2度に渡り未曾有の被害をもたらした熊本地震。死者数は250人を超え、そのうち震災関連死は196人に上りました。それから約2年半。今なお仮設住宅での暮らしが続いています。仮設住宅の入居期限は原則2年。しかし、自宅再建の見通しが立たず、熊本県は昨年引き続き期限を延長。入居期限が最長4年となりました。

今年はいくさんの災害が日本列島を襲いました。世間の目は熊本地震から遠のいているように感じます。

現地の方にこう言われました。「2年半たった今でも、熊本に来てくれてありがとう。」

“忘れない”それが、私たちにできる最低限で最大のこと。

1日目…9月8日(土)

at

テクノ仮設団地  
みんなの家

みんなで  
思いっきり

みんなの家で行ったのは、子どもたちを中心に、ふうせんバレー・じゃんけん列車・ジェスチャーゲーム・もうじゅう狩り・トランプなど数々の遊び！残念ながら天気は雨でしたが、室内でできる遊びを思いっきり行い、子どもたちを元気にすることができました。

多くの子どもたちと笑顔で遊んだことで、子どもの笑顔と笑い声をいただき、お祭りのような賑やかで楽しい活動になりました！



# 神戸から熊本へ 届けたい思い

まじき  
熊本県益城町での活動 2018.9.8-9



at

テクノ仮設団地  
集会所 F

心温まる  
時間

テクノ仮設団地 集会所 F では、冷凍庫を使わずにできるシャーベット作り、茶話会を行いました。大雨にもかかわらず、沢山の方が来てくださり本当に嬉しかったです。神戸から持参したお菓子を食べながら、住民さんとゆったりお話しすることができました。「このお菓子美味しいね〜」世間話に花も咲き、まるで里帰りしたような温かさを感じました。私たちが神戸から来るのを毎年楽しみにしてくれる方がいて、とても嬉しかったです。皆さんの笑顔に学生のほうが元気をいただきました。



住民さんと  
学生の“一体感”

at 飯野小仮設団地

飯野小仮設団地では、焼きそば作り、かき氷、写真立て作りを行いました。焼きそばにはビールが合う！と家からビールを持参してきた方も！！

突然、腕相撲をしようと住民さんが！学生と住民さんの熱い勝負。全員の視線が集まり、皆で応援し、とても盛り上がりました。ここで感じたことは“一体感”。写真立て作りでは、1つのテーブルを皆で囲み和気あいあいと作業しました。学生と住民さんが共に作り上げる笑顔溢れる空間。ありがとう、また来てね。私たちはその笑顔を絶対忘れません。



2日目…9月9日(日)

世代を超えた交流

at 赤井仮設団地



赤井仮設団地ではたこ焼きと茶話会を行いました。会場は大人から子供まで大賑わい！Big たこ焼きに驚いたり、子どもたちの元気な姿に自然と笑みがこぼれたり…。活気と笑顔があふれている楽しい空間になりました。茶話会では写真立てだけでなく、教えてもらった折り紙も一緒に作りました！楽しむのに年齢なんて関係ないんだと気づかされました。



笑顔で笑顔に

at 小池島田仮設団地



小池島田仮設団地では、午前中は換気扇の掃除、午後はおうどん作りとうちわ作りを行いました。うどん作りでは、人生の大先輩からコツを教わりながら、和気あいあいとすることができました。出来上がりは綺麗になったものの、短くなったもの、きしめんの様になったものなど、たくさんの形がありましたが、それも手作りでしか味わえない面白さ。「ありがとう」という言葉がどれほど嬉しく、大切であるかを私たちは改めて教えていただきました。

住民の方々と共に過ごした時間はかけがえのないものとなりました。

学生の声

将来に繋げる思い

神戸常盤大学 3年 大谷 菜緒

私がこの活動に参加したのは2度目で、去年と同様テクノ仮設団地と飯野小仮設団地に伺いました。そこでは新しい出会いもあり、たくさんの笑顔で溢れていました。私のことを覚えてくださっていた住民さんもいて、とても嬉しく感じました。1番心に残っているのは住民さんの「ありがとう」という言葉です。この言葉に私たちがの方が元気をもらい、何事にも頑張ろうという気持ちになりました。この経験を活かし、将来に繋げていきたいです。



# 話し合ったり 学んだり 研修プログラム

防災、減災ってどうしたらいいの？被災地のためにできることって…？何度も研修会を開いて学び、準備します。

**学生スタッフ研修会**  
4.28(土)～29(日) @甲南大学 白川台セミナーハウス  
各グループのリーダーとなる「学生スタッフ」がリーダーシップについて学びました！学友間の絆も深まりました！！  
ここから、今年度の活動が始まりました！

**第1回研修会**  
5.19(土) @ひょうごボランティアプラザ  
一般の参加学生を含めた初めての研修会でした。皆初めは緊張した様子でしたが、終わる頃にはグループの仲間と打ち解けていました！  
これからの活動が楽しみです！！

宮城や熊本で活動している方をお招きし現地の状況についてお話し頂きました！皆真剣な表情です！

**第2回研修会**  
5.26(土) @人と防災未来センター  
人と防災未来センターに行って語り部さんの話を聴いたり資料を見たりして「地震」について、実際に肌で感じ、学びました。皆さんにも一度は足を運んでほしい場所です。

**第3回研修会**  
6.2(土) @こま市市民福祉交流センター  
現地での活動内容をグループで話し合いました。皆で一つのものを作り上げるのは大変ですが、同時にやりがいを感じ、本活動がとても楽しみになりました！

**第5・6・7回研修会**  
7.14(土)・21(土)・8.3(金) @甲南大学  
現地ヒアリングで聞いた、現状・ニーズについて報告しました。それを踏まえ、本番に向けてチームミーティングを行い、活動のプレゼンテーションを行いました。もうすぐ本番！頑張るぞ！

**第4回研修会**  
6.16(土)～17(日) @熊本県益城町  
6.23(土)～24(日) @宮城県名取市  
豪雨での被害が大きかった県内の丹波市でスタディーツアーを行いました！このプログラムは今回初めて行われました！

**現地ヒアリング**  
各チームの学生代表が本番の活動の前に、現状を知るため実際に現地を訪れました。住民の方とお話しをする中で、今求められていることや、想いを知ることができました。このヒアリングで得たことをこれからの活動に活かしていきます。

**第5・6・7回研修会**  
10.6(土) @甲南大学  
**振り返りの会 & 修了認定式**  
活動の振り返りを行いました！学んだことも多かったですが反省点もたくさんありました…今回の活動で得たものを次に生かしたいと思います。

**本番!!**  
☆point!!

活動内容に対して大人のスタッフから厳いご指摘も…

Future…

# 丹波スタディーツアー

2018年6月30日(土)

この活動の目的

この丹波スタディーツアーは、大学コンソーシアムひょうご神戸が平成29年度に主催した丹波PVプロジェクト2017でできたつながりを基に、参加学生に震災だけでなく、土砂災害に対する知識や復興まちづくりについても学んでほしいという想いから行われることになりました。

**出発**  
行ってきまーす！

**事前学習**  
2014年8月15日～18日にかけて、北播磨・丹波を中心に多いところで1時間に約100mmの大雨となり、丹波市では人的被害が5件・住家被害が1,023件にも及び被害が出ました。平成29年末時点で98%復旧完了となり、現在は次の災害のための対策もなされています。

**森林学習 丸太切り体験**  
【丸太切りをやってみて】  
これまで丸太切りをしたことが無かったのですが、丁寧に指導していただいたのでスムーズにできました。非常に楽しかったですし、童心に戻れたのでよかったです！  
(土居大輝)

**現地確認**  
【現地の今を見て】  
本当に被害があったのか、と思うくらい復旧してて整備されていました。でも、よく目を向ければ本当にいる人などところに傷跡があったり、その防災措置がなされたりしていることがわかりました。(上利侑也)

**【現地の方々と交流して】**  
現地の方々の元気と笑顔はもちろん、おいしいカレーやお餅も作るところから食べるところまで一緒にできて心も胃袋も癒されました！現地の方々には感謝の気持ちでいっぱいです！(小山千春)

**振り返り**  
【一日の感想】  
1日活動してみて災害に「絶対大丈夫」という保証はない！ということがわかりました。また、いざとなった時に近所の人々とのよい関係を作ることで協力し合えるんだと感じました。(小林歩乃佳)

**あじさい 農園見学**  
午前のはじめは2チームに分かれて活動をしました。すまいりーず・からしれんこんチームはあじさい農園見学、くまっしよい・ひゅーまんずチームはジャガイモ等の収穫体験をしながら現地の方のお話を聞きました。

**昼食**  
【丹波スタディーツアーで感じたこと】  
丹波スタディーツアーに参加することで、災害から4年後の姿を見ることができたのがよかったです。特に、災害をきっかけにできたひなたぼっこカフェという場所は、女性団体が運営している場所ので温かく出迎えて下さったことがとてもうれしかったです。(阿久澤章大)

**収穫体験**

## 学生Q&A

「学生ボランティアの活動に興味はあるけれど、実際のトコロはどうなの？」…そんな質問に参加した学生がお答えします。

**Q. なぜ参加したいと思いましたか？**  
私は大きな災害を経験したことがないので、ボランティアに参加し、災害について勉強したい。また、実際に現地に行き、現地の方と交流をしたいと思い、参加しました。  
中島 穂香 神戸女子大学 1年生

**Q. 一人で参加するのは不安です…**  
私は一人で参加しましたが、多くの人が一人で参加している上に、ボランティア経験のある人もたくさんいるので置いていかれる事はありません。すぐに皆と仲良くなれるので、一人での参加が不安な人も安心して参加してください。  
竹友 千晶 甲南大学 2年生

**Q. 学んだことはなんですか (熊本)**  
私はボランティアの在り方について学びました！活動する中でたくさんの優しさに触れ、感謝の声や素敵な笑顔をいただきました！そしてそこで「熊本を忘れないで」という言葉に出会いました。この言葉を大事にすることこそがボランティアであると思いました。私たちはいろんな人に支えられていると改めて実感できた活動でした！  
大塚 友恵 甲南大学 3年生

**Q. バイトや学校で忙しい…**  
バイトや学校で忙しくても、皆が活動の進捗を知らせてくれて一人で置いて行かれることはないよ！怖がらずに自分と仲間を信じて現地で積極的に活動すれば大丈夫だよ!!  
上野 稜 神戸市外国語大学 3年生

**Q. ボランティア初めてだけど大丈夫？**  
大丈夫です!!学生スタッフという経験者が色々教えてくれたりフォローしてくれるので安心してください!!  
遠藤 菜々子 神戸学院大学 2年生

**Q. 学んだことはなんですか (宮城)**  
私がこの活動で学んだことは、被災地に行って現地の方に何かすることだけが私たちの出来ることではないということです。現地に行って終わりなのではなく、そこで学んだことを持ち帰ってその教訓を活かすこと。私たちは目指すところも勉強していることも違うけど、その置かれた環境の中で自分が中心となって行動に移していくことが大切だと思いました。  
新保 ひかり 神戸常盤大学 2年生



# おすすめ! Spot & Food

観光地やグルメを楽しむことも、  
その地域を元気にする方法のひとつ。  
**楽しい、おいしいがいっぱい!**  
**Let's! おでかけ!**

## ルミナリエ→

毎年12月に開催されている  
光のイルミネーション。  
阪神・淡路大震災の犠牲者  
の鎮魂の意を込めるととも  
に都市の復興・再生への夢  
と希望がたくされています。



毎年やっとなねん



めっちゃ  
おしゃれやねん

## ←メリケンパーク

神戸港にある公園。ポートタワー  
や海洋博物館、BE KOBE など観  
光、写真スポットもたくさん!  
夜は美しい夜景もおススメ。

## 長田のそばめし→

今や全国で有名なB級グルメ  
「そばめし」は神戸市長田区  
発祥。どろソースはお好みで。



庶民的な味やね

## MIYAGI



## ←ずんだ餅

すりつぶした枝豆  
「ずんだ」を餡として  
使った郷土のおもち。  
他にもずんだアイスや  
ずんだシェイクなど  
ずんだのスイーツが  
大人気です!!

いぎなり  
うめえ!

出陣  
だっちゃん!



## ↑青葉城址(伊達政宗像)

青葉城址は戦国大名伊達政宗の居城。  
高台に立つ政宗像は仙台のシンボルです。  
歴史好きにはたまらない!

## HYOGO

8

CHUGOKU

KINKI

CHUBU

KANTO

## KUMAMOTO

たいぎゃ  
うまか!



## ←馬刺し

熊本で有名なグルメと  
言ったらやっぱり馬刺し。  
臭みもなく食べやすいお  
肉です。

復旧がまちどおしかねえ〜

## 熊本城→

地震で入口がすべて壊れ  
てしまったのですが、  
少しずつ復旧が進  
んでいます。近  
くの公園では  
加藤清正公が  
お出迎え。



### ボランティアお役立ち情報

兵庫県内外の様々なボランティア募集情報がアップされています!  
災害ボランティアだけでなく、高齢者や子どもたちを対象とした地域のボランティア活動  
など、みなさん一人ひとりにぴったりのボランティア活動が必ずあるはず!!  
あなたもボランティアに参加してみませんか?

- ◆ ひょうごボランティアプラザ (コラボネット) <https://www.hyogo-vplaza.jp/>
- ◆ 神戸市社会福祉協議会 <https://www.with-kobe.or.jp/>
- ◆ 大学コンソーシアムひょうご神戸 <http://www.consortium-hyogo.jp/>

本紙をご覧になって、ご意見・ご感想などをぜひお聞かせください!

◆ お問い合わせは…

大学コンソーシアムひょうご神戸 学生交流委員会

〒651-0072 兵庫県神戸市中央区脇浜町1丁目2-8

兵庫国際交流会館1F

【TEL】078-271-0233 【FAX】078-271-0244

【E-mail】info@consortium-hyogo.jp



<http://www.consortium-hyogo.jp/>